

地域を考え、時代を創る、新しい日本を一緒に作りましょう。



# Heart to Heart

Smile man

## 後藤しげゆきニュース

2005  
新春号  
Vol.28

発行/後藤茂之 後援会

[ホームページアドレス] <http://www.510.to> [メールアドレス] [goto@510.to](mailto:goto@510.to)

●諏訪事務所/〒392-0017 諏訪市城南1-2542 ●塩尻事務所/〒399-0738 塩尻市大門七番町5-12 ●木曾事務所/〒397-0000 木曾郡木曾福島町上塩淵2690



▲安倍幹事長代理とともに街頭で党改革を訴える後藤党改革実行本部幹事。



▲自民党の「郵政改革に関する政調関係合同部会事務局次長」として党の「申入れ」を与謝野政調会長とともに竹中担当大臣に手渡す。

新年に当たっての御挨拶  
昨年中は大変お世話になり誠にありがとうございました。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。  
現在、一時「景気回復」と言われた経済も後半の製造業の在庫調整と回復しない消費のために踊り場状況となっており、丁寧な地域対策や中小企業対策を講ずる必要があります。  
政治・社会情勢は、イラク、北朝鮮といった外交問題に加え、信じられないような犯罪が多発するなど不安定感を増し、特に政治はスキャンダル続きで国民の信用を全く失っています。政治改革を断行し、国民の不安を払拭する大胆な政治が必要です。覚悟を決めてがんばります。

新年に当たっての御挨拶



# 責任ある改革路線を貫く

若手中堅実力派として難しい要職に



おかげ様で、政府与党の抱える難しい問題を二回生ながら担当しています。以下の通りです。  
(1) 財政金融部会長代理 三位一体改革や地域金融の機能強化、税制等を担当。  
(2) 農林水産副部会長 新農業基本計画の策定、食の安全・安心、食品流通問題等に取り組む。  
(3) 郵政改革に関する合同部会事務局次長 政調会長等とともに難しい問題の党内のかじ取りを行っています。  
(4) 行革本部公益法人改革委員会主査事務局次長 大蔵省での経験も生かし公益法人改革案を作成。  
(5) 党改革実行本部幹事 政治とカネの問題、派閥政治の克服に取り組む。  
(6) 衆議院決算行政監視委員会理事、農林水産委員会委員、  
沖縄北方問題特別委員会委員。



# 語る

後藤代議士

Q & A

Q 地元の都市・地域再生の事業は？

A 国の政策も全国一律の補助事業の実施から地域の創意工夫を生かすメニュー型に変わってきており、何よりも地域の獨創性やNPOの活用など自律性が求められています。一昨年都市再生モデル事業に採択した二件としては、下諏訪の「匠(たくみ)の町」事業は評判も良く、岡谷は昨年になり駅周辺市街地を優良住宅により再開発する事業に進展しています。昨年採択した諏訪は、産業観光、温泉保養、産業交流広場等を内容とした常時メッセ都市をめざします。諏訪バイパスの調査を開始したので周辺道路との調整も重要です。その他の地域でも駅前再開発等に着手しています。食と農の文化を発信するの一案です。木曾郡では、美しい森林、木材産業、伝統工芸、宿場町、御嶽山などを地域まるごと木曾ブランドで発信する「木曾森林文化・街道文化地域ミュージアム構想」を提言しています。

Q 地元の「ものづくり」政策への取組みは？

A 技術のある中小企業の集積地である諏訪・塩尻は、国の新産業創出地域、産業クラスターの拠点として国のテコ入れを重点的に受けています。産学官連携の新コンソーシアム事業・新プロジェクトの採択、「諏訪圏工業メッセ」の開催、本来はナショナルプロジェクトである「Focus21」への地元発のエプソンと地元中小企業との連携事業の採択等次々と実施されています。数年前に作った「DTF研究会」、「レーザ研究会」といったプラットフォームから次世代ナノ技術につながる高度部材加工プロジェクトへの発展、新連携枠による中小企業の連携モデル事業の立ち上げなど新しい挑戦が進んでいます。「ものづくり」は、我が国・地域にとって、国家戦略として重要であり、私も国・地域の産業政策、知財戦略、ベンチャー戦略に熱心に取り組んでいます。

Q プライベートで目標としている減量は？

A 昨年前半の六キロ減は、御柱小宮祭と忘年会で逆戻りです。残念。酒は大敵です。(笑)